



**山きい～や倶楽部制度
～準市民制度を用いた山木屋地区復興策～**

Presented by 近畿大学片岡ゼミ

目次

1. 川俣町山木屋地区について
2. 復興の流れについて
3. 帰還促進事業について
4. 山きい～や倶楽部制度について
5. 具体的な活動内容について
6. まとめ
7. 参考文献・資料



(出典:実態調査時に筆者撮影)

1. 川俣町山木屋地区について

1-2. 川俣町・山木屋の魅力

トルコギキョウ

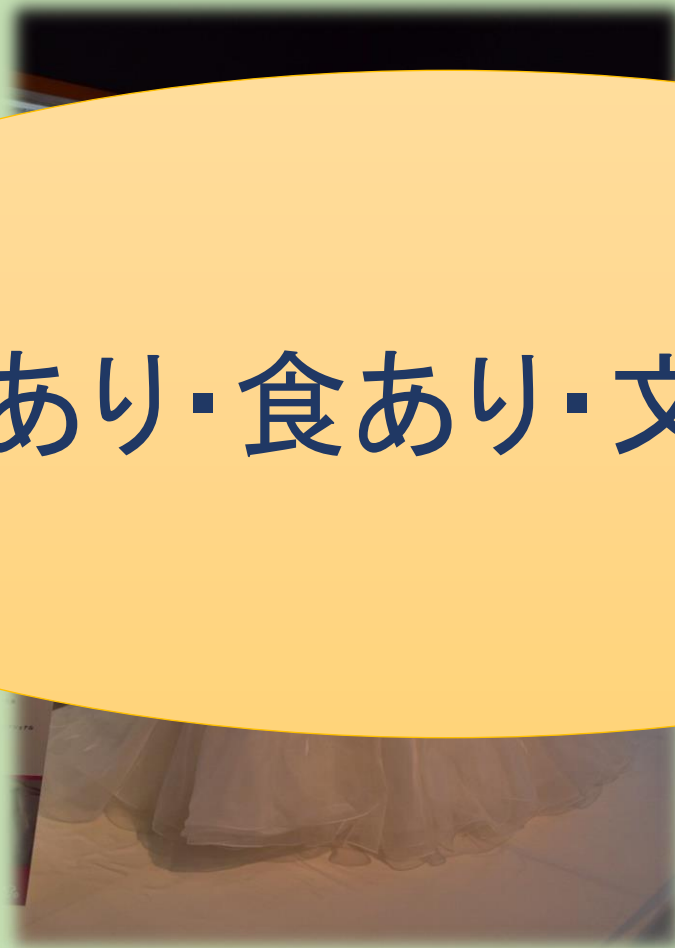
川俣軍鶏

川俣シルク



(出典:川俣軍鶏 画像)

技あり・食あり・文化あり



(出典:実態調査時に筆者撮影)



(出典:実態調査時に筆者撮影)

山木屋太鼓



(出典:山木屋太鼓 画像)

2. 復興の流れについて

2-1. 復興の流れについて

避難住民の
帰還促進

山木屋に
定住してもらう

準市民制度による
交流人口増加

ゴール

ゴール達成の
手段

☆山きい～や倶楽部制度☆

3. 帰還促進事業について

避難住民の
帰還促進



3-1. 帰還促進事業の概要

目的①

- 避難住民の帰郷機会創出
- 生活基盤等の再建（活気）

目的②

- 山きい～や倶楽部の運営基盤をつくる
- 上記の宣伝

※ 山きい～や倶楽部制度を行う為の前段階手段

3-2. 具体的な内容について (目的①.②に該当)

イベント事業

- カラオケ

小規模

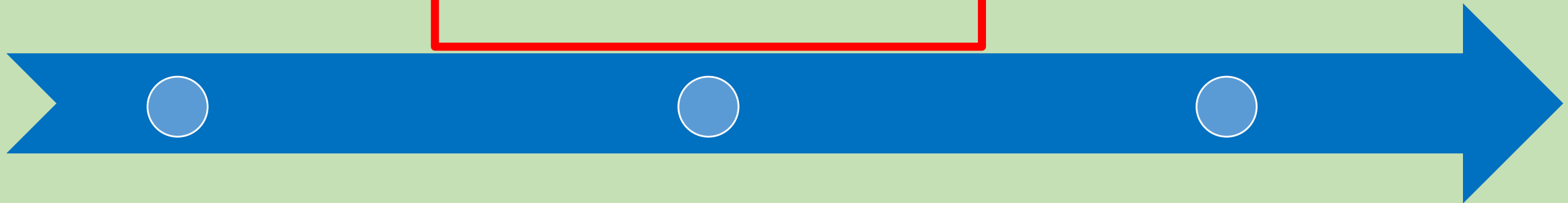
低コスト

情報提供

- 川俣町広報誌の定期送付
- 山きい~や倶楽部制度の事業案内送付
- 帰還相談会・座談会の開催など

4. 山きい～や倶楽部制度について (準市民制度を用いた)

準市民制度による
交流人口増加



4-2. 山きい～や倶楽部制度（準市民制度）



目的

- 山木屋地区の復興活動

対象

- 交流人口

内容

- 交流機会への積極的参加
- 目的に即した事業を企画・運営

4-3. 交流人口とは

定義

- その地域に訪れる人のこと
- その地域に訪れる理由を問わない

以下の3点に
焦点を当てる

避難住民

本地区
出身者

ゆかりの
ある人

4-4. 制度登録の手続き

山木屋小中学校
卒業生名簿



申請書を
本地区出身・ゆかりのある人に郵送



川俣町役場
企画財政課へ提出

申請書郵送先：〒
FAX 送信先：
山木屋地区出身者である方
山木屋地区に訪問または住んだことのある方
山木屋の活性化のためにご協力いただける項目に○をつけてください。(複数回答可)
友人等に山木屋の魅力、産業などを宣伝したい
山木屋の活性化のためにサポート、アドバイスをしたい
友人等に制度への参加を呼び掛けたい
その他()

山きい～や倶楽部登録申請書

年 月 日

住 所	〒		
フリガナ 氏 名 (社名)		性 別	男・女
		生年月日	年 月 日
職 業	会社員・公務員・自営業 その他()		
電 話	()	E-MAIL	
F A X	()		
対象となる項目に○をつけてください。			
	山木屋地区出身者である方		
	山木屋地区に訪問または住んだことのある方		
山木屋の活性化のためにご協力いただける項目に○をつけてください。(複数回答可)			
	友人等に山木屋の魅力、産業などを宣伝したい		
	山木屋の活性化のためにサポート、アドバイスをしたい		
	友人等に制度への参加を呼び掛けたい		
	その他()		

会員証を獲得

4-5. 会員証(表面)

山きい〜や倶楽部 会員証

山木屋

山木屋	山木屋	山木屋	山木屋	プレミアム商品券 500円
				プレミアム商品券 1000円
				プレミアム商品券 3000円
			
			etc

発行 2018/01/01

会員No. 0001

お名前 山木屋 愛 様

(出典:筆者作成)

4-5. 会員証(裏面)

山きい～や倶楽部会員証の利用ご案内

1. この会員証は「山きい～や倶楽部」会員であることを証明するものです。
2. この会員証を許可なく他人へ譲渡することはできません。
3. 会員証をお忘れの場合は別紙に仮捺印をし、お渡しいたします。
次回ご参加の際に仮捺印された別紙をお持ちください。
4. この会員証を万が一紛失された場合は、川俣町役場にて再発行いたします。

〔この会員証を拾得された方は、とんやの郷または川俣町役場へご連絡ください。〕

みんなで来^きい^や! 山木屋へ!

ご署名

◆とんやの郷

開館日：月曜日～金曜日

開館時間：8:30～17:15

住所：福島県伊達郡川俣町山木屋字日向40-1

電話：024-563-2021

(出典:筆者作成)

4-6. 活動内容について

山木屋地区住民

1 交流機会の創出

2 本地区の情報共有

準市民

1 交流機会に参加する

2 活動の企画・運営・参加

3 周知活動の協力

5. 具体的な活動内容について (地元住民・準市民合同)

5-1. 活動内容の提案例について

山木屋自然体感イベント

花卉栽培体験

川俣軍鶏レースイベント

山木屋同窓会

ごくまきイベント



5-2. 山木屋自然体感イベント

開催場所

- 山木屋オートキャンプ場

ターゲット

- 【主催者】 地元住民と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者・ゆかりのある人

目的

- 地元住民との交流機会創出
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり
- 山木屋の自然を体感する
- 風評被害の緩和

内容

- オートキャンプ場でのキャンプ
- 川俣町・山木屋の食材を使ったBBQ
- 山木屋をサイクリング

5-2-1.「山木屋自然体感イベント」案における予算

<コテージを新設すると仮定>

項目	費用	備考
レンタル自転車	<クロスバイク> 5万円/1台 × 10台=50万円 <ママチャリ>3万円/1台 × 10台=30万円	・初期用意台数は10台を仮定
ハンモック	<ハンモック(自立式)>1万円/本 × 10本=10万円 <ハンモック(持ち運び式)>約3千円/本 × 10本=3万円 <ハンモックベルト>約3千円/台 × 10台=3万円	・自立式:耐荷重330kg 持ち運び式:耐荷重250Kg
コテージ	<建設費>(※1)約700万円/1棟 × 3棟=2100万円 <土地代>(※2)約6万円/1坪 × 18坪 × 3棟=324万円 <合計>約2430万円(3棟分)	約200万円 約2万円/㎡ 約100万円/坪(地価(H29))
管理費	<人件費>(※3)750円/時間 × (※4)6人=4500円/時間 <雑費>初期費用(小道具購入代等)として5万円	(※3)福島県最低賃金 748円/時間 (※4)コテージ1棟に対し2名と仮定
合計	<最安値>¥2,471万円 + 人件費 <最高値>¥2,498万円 + 人件費	—

経費削減可能！！

5-3. ごくまきイベント

開催場所

- とんやの郷
- 小中一貫校（H30.4 開校予定）

ターゲット

- 【主催者】 地元住民と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者・ゆかりのある人

目的

- 地元住民との交流機会創出
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり
- 若者から高齢者まで幅広い年代間交流

内容

- 高台から落とされる景品を獲得する

5-3-1.「ごくまきイベント」案における予算

項目	費用	備考
バス代金	<総額>¥45,100	・<仮定>大型バス5時間使用、距離35Km
お菓子代	<総額>¥8,750	・<総額>= 50円 × 35人 × 5個
餅代	<総額>¥16,524	・<仮定>投げ餅お配りセット 参照:かくじゅう米屋
軍鶏代	<総額>¥4,217	・<仮定>軍鶏解体済みメス1羽
高台レンタル代	<総額>¥64,800	・<仮定>1泊2日料金 参照:ダスキンレントオール
合計	¥139,391	—

5-4. 山木屋同窓会

開催場所

- 公民館
- 小中一貫校（H30.4月開校予定）

ターゲット

- 【主催者】 地元住民と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者（山木屋小中卒業者）

目的

- 地元住民との交流機会創出
- 故郷山木屋への思いを強く持ってもらうこと
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり

内容

- 一般的な同窓会と同様に食事を中心とする

5-5.花卉栽培体験



(出典:実態調査時に筆者撮影)

開催場所

- 花卉栽培ビニールハウス

ターゲット

- 【主催者】 地元住民と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者・ゆかりのある人

目的

- 地元住民との交流機会創出
- トルコギキョウの知名度向上
- 山木屋地区雇用先の認知
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり

内容

- トルコギキョウの栽培・収穫体験
- トルコギキョウのフラワーアレンジメント

5-6. 川俣軍鶏レースイベント

開催場所

- 株式会社いわき育成場新田農場
- 有限会社はやま農場
- 有限会社福島ポトリー／山木屋疣石農場

ターゲット

- 【主催者】 川俣町農業振興公社と準市民
- 【資金援助】 川俣町
- 【参加対象】 本地区出身者・ゆかりのある人

目的

- 地元住民との交流機会創出
- 山木屋地区現状把握のきっかけづくり
- 川俣町の魅力再確認

内容

- 川俣軍鶏をレースに参加させる
- 川俣軍鶏の料理を提供



(出典:実態調査時に筆者撮影)

5-7. イベント予算の内訳について (ごくまき・山木屋自然体感イベントを除く)

イベント	内訳	合計	備考
イベント打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人件費: 約15,000円(運転手2人分) ✓ 雑費: 25,000円: 飲料・茶菓子(500円/人) 	¥40,000	・対象は50人規模と仮定
山木屋同窓会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 飲料費: 約15,000円(300円/人) ✓ 人件費: 約30,000円(運転手2人分) ✓ 催し代: 約25,000円 ✓ 軽食費: 25,000円(500円/人) 	¥95,000	・対象は50人規模と仮定
カラオケ大会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ カラオケ器具リース代(1日分): 57,780円 	¥57,780	—
スポーツ大会	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 棒サッカー(ボール代: 300円、新聞紙代: 無料) ✓ 風船バレー(ネット代+ボール代): 3960円+500円=4,460円 ✓ ローンボウルズ(偏心球2個セット×5): 990×5=4,960円 	¥9,720	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでは3種のスポーツとして仮として計算 ※行うスポーツによって異なる
川俣軍鶏レース	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 軍鶏購入費: 2000/円×10羽=20,000円 ✓ posting費: 35,000円 ✓ 養鶏費20kg: 1500円(仮定): 28,000円/年 ✓ レース場設備費: 20,000円 	¥103,000	—

6. まとめ

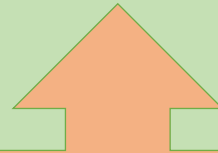
6. まとめ

山木屋地区に人の流れを

準市民



地元
住民



継続的な交流活動を
山木屋に活気と人を取り戻す



7. 参考文献・資料

- 「未来の年表」（著者：河合雅司）
- 川俣町HP
- あぶくまカットフラワーグループヒアリング調査結果
- 株式会社川俣町農業振興公社ヒアリング調査結果
- とんやの郷ヒアリング調査結果
- 川俣町役場ヒアリング調査結果
- 山木屋地区自治会ヒアリング調査結果
- 群馬県沼田市HP（準市民制度について）

近畿大学

KINDAI UNIVERSITY

近畿大学片岡ゼミ 指導教員:片岡 博美 教授

風評被害班

今仲 康輔

関口 尚将

西 隆司

林 大輔

防災班

井倉 里菜

奥川 拓也

加藤 陽

春岡 隆宏

村井 俊輝

人口班

木村 和樹

田島 俊輔

堤 遥香

堀川 誠矢

吉村 凌

行政班

井筒 絢香

竹本 静喜

中山 真太郎

濱本 拓実

松田 紘典

吉村 駿

観光班

田井 真由子

中島 彩

森 希代実

平山 智史

Supported by 近畿大学社会連携推進センター

以上24名